⭐北海道高等学校教職員組合連合会⭐

2027 学校職場づくり学習会

学生・大学院生も大歓迎!
教員採用試験対策にも
生かせます！

テーマ 「せんせい（教職員）に必要な力とは何か」

子どもや生徒にとって学校で出会う大人は先生だけではありません。学校には、実習教員や支援員をはじめ多くのせんせい（教職員）がいます。
せんせいに必要な力とは、デジタルツールを使いこなす力？ それともカリキュラム・マネジメント能力？ ーーそもそも、「せんせい」の仕事って？
そんな想いを、ふとした時に持つことはありませんか。
「せんせい」に必要な力とは何なのか。一緒にゆったりと考えてみませんか。

パネルディスカッション 10：00-12：00

「せんせい」をめぐる対話

コーディネーターには「子ども理解」の第一人者、福井雅英先生をお招きしています。世代も職種もバラバラの4人のせんせいと一緒に「せんせいでしかできないことは何か」について考えます。

「せんせい」をめぐるパネリスト
佐々木優さん（厚岸翔洋高校）
平子　裕さん（北見北斗高校）
清水正貴さん（滝川工業高校）
片山尚子さん（帯広養護学校）



福井 雅英 さん

元北海道教育大学大学院授

子どもの生活や発達を深く理解し、教師同士が実践を語り合う「子ども理解のカンファレンス」を提唱している。
近著「教師の『指導力』を育てる―実践 子ども理解のカンファレンス」「『質の高い教師』とは何か」

分科会 分会会は当日、選べます 13：00-15：30

①楽しみすぎの教職員生活
レポーター：木谷弥彦さん（余市紅志高校）

こんな人生満喫教職員は他にいない…。「憲法を武器に、生徒に対してだけ責任を負う教職員生活」を送っている、自称「変態社会科教師」の木谷さん。教育愛と社会を見る力、そして木谷さんの生き方そのものから、せんせいという仕事に迫ります。



②生徒のワクワクが始まる時
レポーター：山本ひろみさん（池田高校）

「問い」を持たない・持てない生徒たちに伴走し、ステキな地域人との出会いや、あたたかい対話を通して、自分の「問い」を見つけ、探究して行く生徒を育てます。どんな場面で、どんな過程を経て、生徒がワクワクし始めるのかー山本さんの経験値を共有してもらいます。



③校則改定と向き合う生徒たち
レポーター：志波晴世さん（北広島西高校）

「置き勉」や「服装」のルールを変えるプロジェクトを進めています。とはいえ、変えることは簡単ではありません。子どもたちと一緒に考えること…職員の同意を得ること…など現在進行中のプロジェクトのあれこれをお話ししてもらいます。



日程 2027年1月9日（土） **時間** 10：00−15：50

参加費用 無料（組合員には規定旅費支給）

場所 高等学校教職員センター４F大会議室
（札幌市中央区大通西12丁目）

最寄り駅は地下鉄東西線「西11丁目駅1番出口」徒歩3分
1・13 駐車場が利用できます（組合員は料金補助があります）

オンライン参加も可能です

申込〆切 1/6（水） 定員 60名

申込方法
右QRコードかメール・
電話にて申込み下さい。

電話 011-231-0816 **メール** kokyoso@dokokyoso.jp